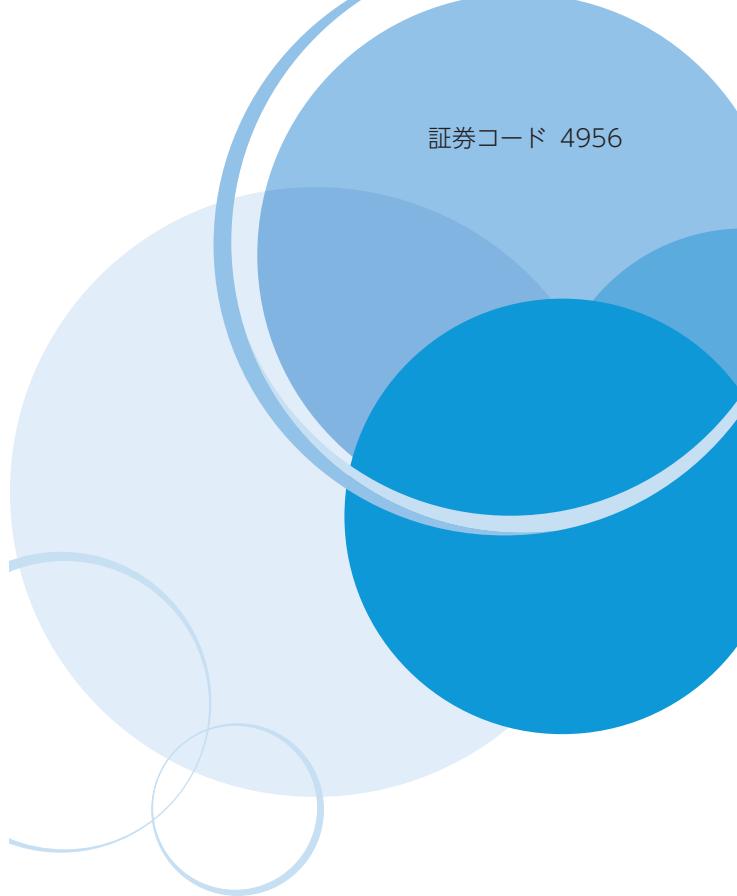

第**99**回 | 株 主 通 信

2023年4月1日～2024年3月31日





代表取締役会長 **横田 隆**



代表取締役社長 **松端 博文**

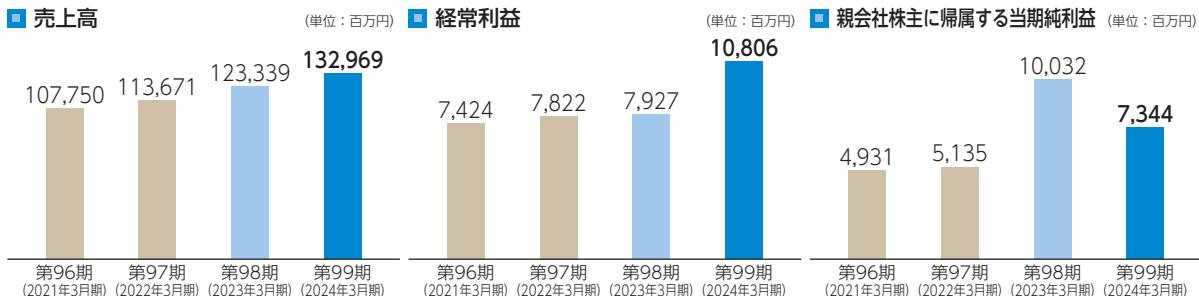
株主の皆様には、日頃よりコニシグループにご支援いただき、厚く御礼申し上げます。

コニシの歩みは、1870年創業の薬種商から始まり、その後、洋酒や工業用薬品の販売へと事業を拡大し、1952年には合成接着剤「ボンド」を開発しました。現在は、合成接着剤「ボンド」などを製造・販売するメーカーとしての「ボンド事業」、化学品を扱う専門商社としての「化成品事業」、橋梁などの社会インフラおよび建築ストック市場の維持・補修・改修を目的とした「工事業」を主力の3事業として、「つなげる」ことを理念とし、さらなる事業展開を図っております。

コニシにとって、「つなげる」は多様な意味を持ちます。

- 一つは、様々なモノをくっつけること。
- 一つは、人やモノや情報をつなげること。
- 一つは、様々なモノを次代へ、より長きにわたって継いでいくこと。
- 一つは、お客様の思いや夢を形として具体化すること。

これからも「つなげる」ことにどこよりもこだわり、これまでの事業を継続し発展させるだけでなく、事業領域の拡大を目指し、新分野・新領域の開拓にも挑戦し、さらに快適な明日の暮らしに貢献して参ります。皆様には今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第97期の期首から適用しており、第96期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

事業区別の状況

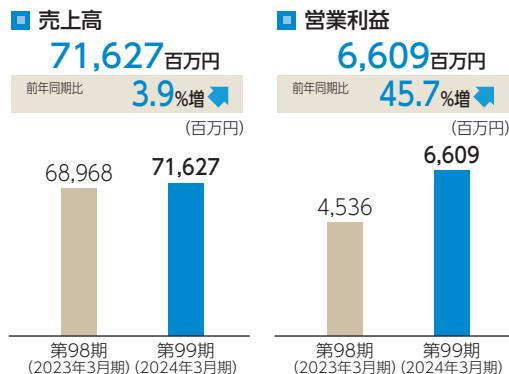
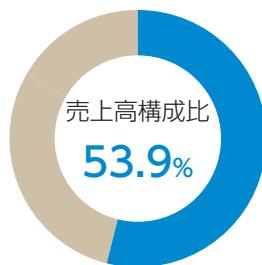
【ボンド】

一般家庭用分野においては、ホームセンター向けやコンビニエンスストア向けは堅調に推移しました。住関連分野においては、建築コストの上昇による新設住宅着工戸数の減少を受け、内装工事用の販売数量は減少しました。産業資材分野においては、紙関連用途向けの水性接着剤の販売数量は減少したものの、自動車等に使用される弾性接着剤の販売数量は増加しました。建築分野および土木分野においては、改修工事案件の増加に伴い、建築・土木用シーリング材や落防止工法に使用される材料の売上が増加しました。

接着剤やシーリング材に使用される原材料価格の高騰は依然として継続しているものの、製品販売価格への転嫁が進捗し、売上高、営業利益は伸長しました。

以上の結果、売上高は716億27百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益は66億9百万円(前年同期比45.7%増)となりました。

ボンド

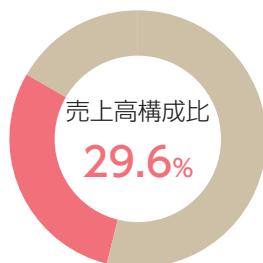


【化成品】

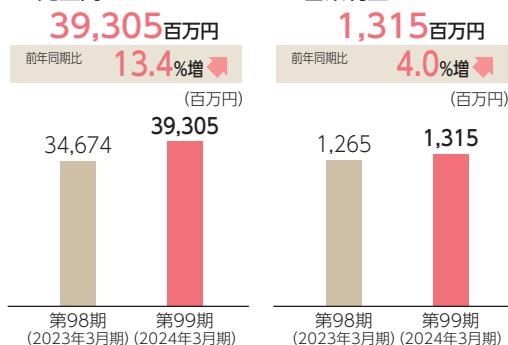
化学工業分野においては、樹脂原料の販売が減少しました。自動車分野においては、半導体不足の解消や新規採用によりハイブリッド車向け商材が好調に推移しました。電子電機向け商材は、パソコンやタブレット端末、スマートフォン等の個人消費者向け商品の需要低下の影響を受けて、関連商材の販売が減少しました。丸安産業(株)においては、コンデンサ用商材が減少しました。

以上の結果、売上高は393億5百万円(前年同期比13.4%増)、営業利益は13億15百万円(前年同期比4.0%増)となりました。

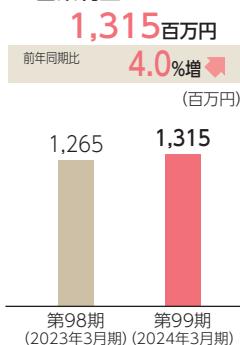
化成品



売上高



営業利益

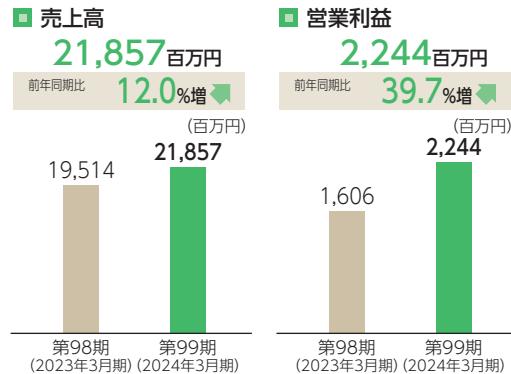
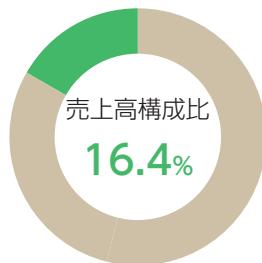


[工事業]

工事業においては、公共事業を中心としたインフラおよびストック市場の補修・改修・補強工事が引き続き好調に推移し、工事の進捗も良好であったため、関係工事会社5社ともに売上高・営業利益が大きく伸長しました。また、2023年1月に子会社化した中信建設(株)も売上・利益の増加に寄与しました。

以上の結果、売上高は218億57百万円(前年同期比12.0%増)、営業利益は22億44百万円(前年同期比39.7%増)となりました。

工事業



[その他]

その他は不動産賃貸業等となります。売上高は1億78百万円(前年同期比2.0%減)、営業利益は1億24百万円(前年同期は2百万円)となりました。

TOPICS

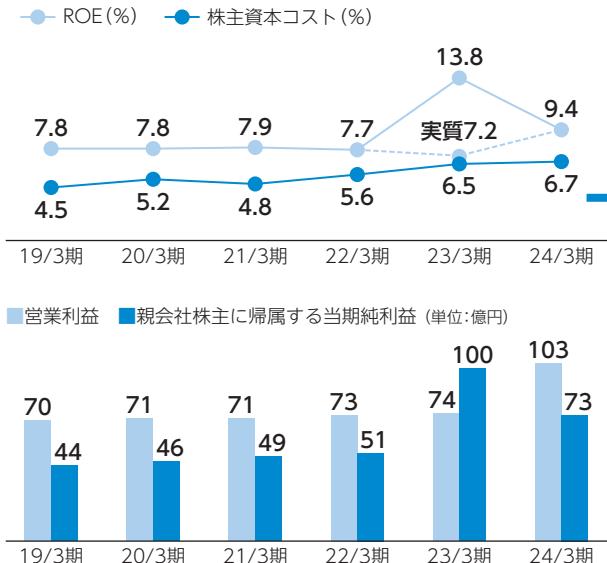
資本コストや株価を意識した経営の実現について

当社は、東証が要請している「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」において、当社の資本コストや資本収益性についての現状分析や計画、これまでの取り組み状況について取締役会にて討議し、開示を行いました。

その内容について、ご紹介いたします。

① 資本コストと資本収益性について

- 当社の「株主資本コスト」については、現在およそ「6.7%」程度と認識しております。
- 当社のROEは、株主資本コストを継続的に上回っております。
- 2019年3月期から2022年3月期にかけては、自己資本の蓄積によりROEは低下傾向にあり、株主資本コストとROEの差は縮小傾向にありました。
- 2023年3月期のROEが13.8%と例年に比べて高いのは、固定資産売却益（特別利益）の発生があったためです。この影響を除く実質ROEは7.2%です。
- 2024年3月期は、各利益の増益に加え、自己株式取得による自己資本の削減の結果、実質ROEは上昇しました。



当社の株主資本コストの算定について (CAPMを使用)

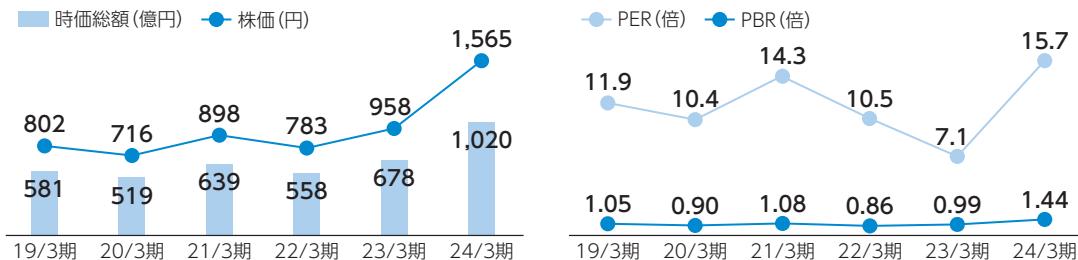
$$\begin{array}{c} \text{リスクフリーレート} + \text{ベータ}(\beta) \times \text{リスクプレミアム} \\ 0.65\% + 0.95 \times 6.4\% \\ \parallel \\ \text{株主資本コスト} \\ 6.7\% \end{array}$$

- ・リスクフリーレートは10年国債利回りを使用
- ・ β は対TOPIX60カ月ベース

② 株価・市場評価について



- 2019年3月期から2023年3月期にかけては、株価・PBRはほぼ横ばいに推移し、PBRについては1倍を継続的には達成できておりませんでした。
- 2023年3月期は、固定資産売却益の計上により予想EPSが例年の約2倍になったため、PERは7.1倍と低くなっておりました。
- 2023年3月期までPBRが1倍を継続的に達成できなかった要因の一つとして、「資金配分計画および株主還元方針」に関して明確な開示ができていなかったためと認識しております。そのため、2023年5月に公表しました「中期経営計画2026」においては、今後3年間の資金配分計画と株主還元方針について開示いたしました。
- その結果、当期2024年3月期は、業績の伸長と資本政策の実施が評価され、株価は上昇したと認識しております。PBRについても1倍以上を達成し、PERも上昇しております。



注) 2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、23/3期以前につきましては当該株式分割調整後の3月末株価に基づき記載しております。

第99期の取組状況

資本政策の実施について

自己株式の取得

「中期経営計画2026」の資金配分計画において、自己株式を3年間で約60億円分取得する予定としておりましたが、初年度である当期に、約67億円（株式分割調整後株式数:5,704,100株）の自己株式を取得いたしました。

自己株式の消却

2023年10月13日をもって、自己株式11,000,000株（株式分割調整後株式数）を消却いたしました。消却前の発行済株式総数の13.5%に相当します。

株式分割

投資家層の拡大と株式の流動性向上を目的に株式分割を実施いたしました。

- (1) 分割の方法 「1株につき2株」の割合をもって分割
- (2) 基準日 2023年12月31日
- (3) 効力発生日 2024年1月1日

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL
<https://www.bond.co.jp/ir/koukoku/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



本社 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1 TEL 06(6228)2811



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



この印刷物は、環境に配慮しFSC®の認証紙と水なし印刷方式を採用しています。